



問 水産資源の確保のための伊勢湾再生についての考えは

近年、伊勢湾の海水中のプランクトンが減少し、津市の漁港から漁に出ても魚が取れないと聞く。

水産資源の確保のための伊勢湾再生について、津市としての考えは。

答 国や県に引き続き要望していく

近年、伊勢湾における窒素やリンなどの栄養塩類の不足が指摘されているが、栄養塩類が増加することで植物プランクトンが増殖し、赤潮が発生することも知られている。このことから、海域への栄養塩類の供給については、しっかりとコントロールする必要がある。

また、地球温暖化によって海水温が上昇し、水産資源に影響を与えていることも指摘されているが、海域の課題解決に向けては科学的な知見が必要と考えることから、有識者や研究機関を有する国や県に原因の究明と対策の実施を引き続き要望していく。

その他の質疑・質問

- 三重県より譲り受けたズリの現況について
- 公共工事の火薬使用による民家破損に対する被害家屋の原状復帰による市の補償は正しいのか
- 市営浄化槽事業について
- メンタルヘルス不調による病気休暇の職員数について
- 都市計画道路の整備について

など

「つくり、育て、とる漁業」の取り組みとしてハマグリを放流する様子



問 初の女性副市長の意気込みは

津市では「令和7年度までに課長級以上職員に占める女性割合を18%以上にする」と目標を掲げており、徐々にその目標値に向けて努力が重ねられ、管理職の女性が占める割合が増えてきている。

その中で、南条副市長は令和6年4月に初めて女性副市長に就任されたが、どのように女性職員を引っ張っていかれるのか、意気込みをお聞かせいただきたい。

答 女性職員が管理職を目指そうとする組織にしていきたい

市の施策には、女性の視点や子育て、介護、地域との付き合いといった生活者の視点を生かすべきであり、行政の知識を持っている女性職員がもっと意見を述べて、施策に反映していく必要があると考えている。

女性が管理職になって、少しでも時間外勤務を減らすなど、率先してワーク・ライフ・バランスを実践して、みんなが働きやすい職場の環境、風土をつくっていききたいと思っている。

私一人ではできることも限られているので、市役所の女性職員が一人でも多く管理職を目指そうという意識を持てる組織にしていきたい。

その他の質疑・質問

- 議案第60号 津市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部の改正について
- マイナンバーカードの健康保険証利用について
- ネーミングライツの導入に向けた取り組みの現状について
- 男性職員の育児休業の取得状況について

マイナ保険証について解説されたパンフレット

